

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債権…償却原価法(定額法) によっている。

②その他の有価証券で時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

①出版物…個別法による時価（売価）法によっている。

②貯蔵品…個別法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（簡便法による自己都合要支給額）に基づき、財団が負担すべき額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	832,730,191	0	12,253,843	820,476,348
小計	832,730,191	0	12,253,843	820,476,348
特定資産				
退職給付引当資産	36,463,980	2,007,475	8,529,470	29,941,985
運営資金引当資産	47,500,000	0	0	47,500,000
減価償却引当資産	4,582,149	0	0	4,582,149
基本財産準備資産	6,515,200	0	0	6,515,200
小計	95,061,329	2,007,475	8,529,470	88,539,334
合計	927,791,520	2,007,475	20,783,313	909,015,682

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	820,476,348	820,476,348	0	0
小計	820,476,348	820,476,348	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	29,941,985	0	0	29,941,985
運営資金引当資産	47,500,000	0	47,500,000	0
減価償却引当資産	4,582,149	0	4,582,149	0
基本財産準備資産	6,515,200	6,515,200	0	0
小計	88,539,334	6,515,200	52,082,149	29,941,985
合計	909,015,682	826,991,548	52,082,149	29,941,985

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末 残高	当期末増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
文化振興事業 補助金	姫路市	0	232,714,000	232,714,000	0	
国際交流事業 補助金	姫路市	0	31,716,942	31,716,942	0	
ウクライナ避難民 支援一時金	姫路市	0	400,000	400,000	0	
合計		0	264,830,942	264,830,942	0	

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載しているので省略。

- 2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	36,463,980	2,007,475	8,529,470	0	29,941,985